

## 平成27年度倉吉市教育講演会報告

### 1 目的

倉吉市小学校PTA連合会、倉吉市中学校・養護学校PTA連合会、倉吉市教育委員会が、共催で教育講演会を開催することで、児童生徒、また児童生徒を取り巻く環境について課題を共有し、講演（研修）内容を通して、児童生徒の健全育成をめざす。

2 開催日 平成27年10月9日（金）19時30分～21時00分

3 会場 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

4 主催 倉吉市小学校PTA連合会、中・養護学校PTA連合会、倉吉市教育委員会

5 対象 倉吉市内小・中・養護学校の保護者、教職員

### 6 内容

講演「子どもたちの未来のために大切なこと」

講師 鳥取短期大学付属幼稚園・保育園 園長 横濱 純一 氏

鳥取県の小中学生の学力学習状況調査における無解答率の高さ、日本の子ども達の自己肯定感の低さ等データの考察から始まり、子どもたちがこれから生きていく時代は、「不確実性の増大」「人工知能の飛躍的な発展」の時代となって行くであろう。今の子どもたちには、そんな時代を、強くしなやかに生き抜いていくための資質・能力として、『過去のパターンにとらわれない「柔軟な発想」「自ら考える力』、『予想外の過酷な環境においても適応できる「強い心（タフネス）」』が求められる。そんな資質・能力を育てていくために、私たち大人の子どもに対する姿勢として、「好奇心を刺激し、好きなことに没頭させる」「多様な体験の機会を増やし世界を広げる」「一流や美しきものに触れ、感受性を磨く」「豊かな想像力と表現力を育む」ことがあげられるなど、校長から教育行政、県の教育長を経た体験をお話いただきながら、子育てについての大切なポイントを御示唆いただいた。



## 7 参加者の感想

・学力・体験・人としての資質・コミュニケーション能力、1人の人間として子どもと向き合い成長できるように手助けをする事は日々苦勞する。勝手に大きくなってくれないかなと思うが、毎日怒りながら、笑いながらやって行きたい。



・今の若者は、受け身の姿勢が強く、何かつらいことがあると乗り越えることができない、または、人のせいという姿が多く見られる。やはり、考える力・想像する力をもっと使っていく教育がよいと思うし、受け身のみの教育が変わっていくといいなと願う。

・数値を用いて、教育の現状についてわかりやすく話しをされて、参考になることがたくさんあった。ただ、PTAの役員が集まって話しを聞くだけでは、何も変わらない。一般のPTA会員をどう刺激していくのか、市P連全体で考えなければならないと思う。

・中1の娘が、福祉体験をして、目を輝かせて帰ってたくさん話しをしてくれた。その中で、「自分の将来の夢がもっとはっきり見えてきた。」とうれしそうに話してくれた。子どもの気持ちを大事にし、外の世界も見せていきたいと思った。

・あらゆるデータを紹介していただき、近い将来、教育が劇的に変化していくことがよくわかった。これからの教育は、画一的なものでなく、「個性」「異端」を大切にしていく教育であることがよく理解できた。

・子ども達の人間性をいかに活かしていくか、また、それこそが評価されていく学習力へと変化していくとのこと、とてもうれしく思う。自分もその時代に子どもでありたかった。グローバルな考え方・見方で、地域で生活（働く）まさにそうだと共感した。